

# 人工歯根治療 負担軽く



新しい治療法を説明する末次院長

【名寄】安全で患者の負担が軽い歯科インプラント（人工歯根）治療を進めるため、吉田病院（市内西3南6）の歯科口腔外科はこのほど、新しく認可されたコンピューターシステムを使った治療を始めた。（和田光弘）

治療に着手してから十分時間で終えることができ、患者の負担が軽くなにかめるようになるまで、従来のような歯茎の切開もなくなった。

新しい治療法では、新同病院によると、道内導入したコンピューターの歯科病院でこの治療方法を導入しているのは、断層撮影装置（CT）で撮影した口内の立体画像を、札幌の数力所だけといえぬ、失った歯を補うを使い、まずコンピューター上でシミュレーション。末次博歯科口腔外科医

## 歯茎の切開せず 手術時間も短縮

十人の術例がある。従来手術を実施。その結果長は「新しい方法では、は、エックス線写真と医に基づき、人工歯根を正。術後のはれや痛みがかなり軽減される。従来のように埋め込むための外科的器具（マウスピース）を、手術時の切開で初め、器具を手術直後に付ける。器具は、それを患者の歯で固定し、説明して変更する事例もあった。また、同病院では通常、埋め込みを進めるため短